資料1-2

OTSU 大津市 Lake Biwa

第７回
大津市デジタルイノベーション戦略本部員会議

令和４年度事業の実績について

2023.6.2

DX推進支援業務委託（CIO補佐業務）

【事業概要】

加速度的に進む自治体のDX（デジタルトランスフォーメーション）に適応するため、十分な能力・スキルや経験を持つ外部のデジタル人材による組織的な支援を受けることで、デジタルイノベーション戦略や自治体DX推進計画、自治体情報システムの標準化・共通化などを推進するとともに、全庁職員の育成を図る。

【令和４年度の実績・成果】

：関連のある具体的な取組に繋がった成果
：今後の推進に繋がる成果

大津市デジタルイノベーション戦略・自治体DX推進計画等の推進	マイナンバーカードの利活用	マイナンバーカード利活用事例収集、自治体マイナポイント利活用事例収集を実施。「大津市ポイント運営に関するガイドライン（案）」策定に向けた支援をいただいた。	OTSU POINTの運用開始
	行政手続きのオンライン化	手続きの業務フローのケースを整理したうえで、行政手続きに関する全庁照会を実施した。回答のあった約1,500手続きについて分析し、現状把握とともに、今後の方向性を検討した。	全庁手続きの洗い出し
	テレワークのあり方検討	テレワーク推進の方向性について整理し、まずはID最適化のために必要とする職員に手当てを行っていくこととした。また、職員向けのテレワークスキル向上のためのガイドラインを策定した。	職員向けガイドラインの策定
	キャッシュレスの推進	キャッシュレスシステム導入に向けて、手数料負担についての考え方、次年度以降の導入検討などの整理を行った。また、庁内向けのガイドラインを策定した。	窓口キャッシュレスの運用開始 庁内向けガイドラインの策定
	その他DXの推進	「その他DXの推進」として、事務処理ミスの集計、分析を行い、DXで対応できそうなもの、できないものの仕分けを行い、方向性を整理した。	現状把握・今後の方向性の整理
自治体情報システムの標準化・共通化に向けた取組		標準化移行に向けた考え方の整理を行うとともに、国の動向等について情報収集を行った。また、各システムの移行スケジュールについて調査を実施し、今後の方向性を整理した。	
次期デジタルイノベーション戦略策定に向けた取組		戦略策定の一般的な手順について、認識の共有を図り、次期戦略策定に向けて現状を整理した。	独自での次期戦略の構想策定
職員育成の取組支援		「全職員向け」に動画研修を実施するとともに、「特命チーム向け」にICT活用研修及びデザインシンキングワークショップを開催した。	職員の意識醸成・能力向上
CIO等への進言		10月に国の取組や本業務についてCIOに報告した。また、2月にデジタル推進監に対して事務処理ミスの分析結果を報告するとともに、データ活用に関する意見交換を行った。	進捗把握・今後の方向性の整理

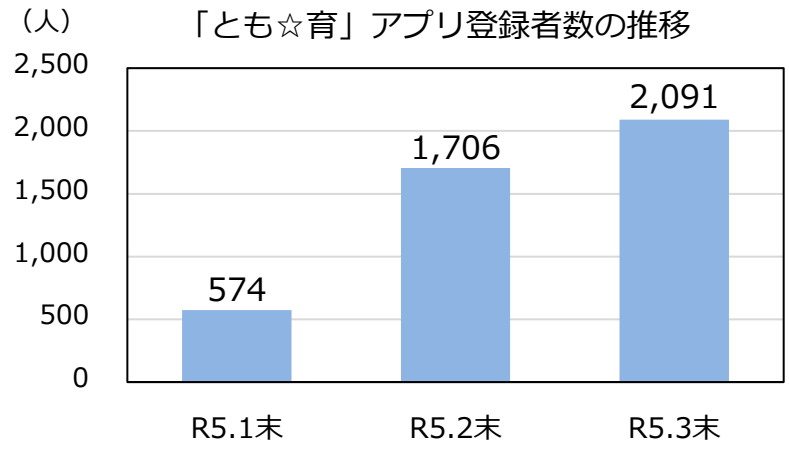
子育てアプリ「とも☆育」の機能拡充

【事業概要】

子育てアプリ「とも☆育」をフルリニューアルし、新たに就学後以降の子育て支援情報を一元的に発信するとともに、掲示板機能を活用したオンライン相談機能や、育児記録のデジタル化などの子育てサポート機能の追加を行うことで、子育て世帯に活用されるアプリを目指す。

【令和４年度の実績・成果】

◆令和５年１月１８日に公開し、令和５年３月末時点で登録者数２，０９１人
◆登録されている子どもの約７５％が就学前児童、約２５％が就学後児童
○主な機能は以下のとおり
・対象者：１８歳未満の児童とその保護者（妊娠期を含む）
＜子育て支援情報の発信＞
・行政サービス
・施設マップ
・イベント
＜子育てサポートツール＞
・カンタン母子手帳
・予防接種
・オンライン型相談掲示板



デジタルデバイド対策事業

OTSU 大津市 Lake Biwa

【事業概要】

デジタル機器に不慣れな市民の方が、安全安心かつ十分にサービスを活用できるよう、スマートフォンなどの基礎を学べる講習会の開催を実施する。また、国が進める「デジタル活用支援事業」の講習会開催状況や、使用する教材・動画などをホームページで紹介するなど、スマートフォンなどの操作方法、オンライン手続きの利用方法等について学びの場を提供し、情報格差の解消を目指す。

【令和４年度の実績･成果】

出前講座

6月から開始し、計9回実施。
延べ113名の方が受講。

スマホ相談会

9月に3日間市民ギャラリーにて、12月に2日間平和堂2店舗にて開催。延べ141名の方が参加。

総務省事業スマホ教室

9月1日から11月14日までに
市内8箇所全40講座を実施。

地域デジタル活用リーダー育成講習会

12月に職員を対象に開催。6名が参加。
滋賀県等とリーダー育成方針で連携。

出前講座受講後のアンケートでは「講座を受講して満足した」という回答を多くいただいた。
スマホ相談会のアンケートでも大変満足していただき、今後も開催してほしいとのご要望を多くの方にいただいた。市役所以外の場所でも開催を望む声があり、㈱平和堂の協力のもと平和堂各店舗でも開催し、各回とも好評であった。

大津市LINE公式アカウントの活用

【事業概要】

申請・手続きや情報収集をはじめとした市民にとって必要な行政サービスを、大津市LINE公式アカウントを通じて利用可能とする。

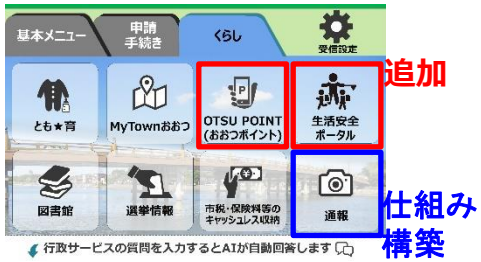
【令和４年度の実績・成果】

■セグメント配信の実施（10月開始）

- 利用者に受信したいカテゴリーを事前に設定していただくことで、個々のニーズに合わせた必要な情報を配信するサービスの開始

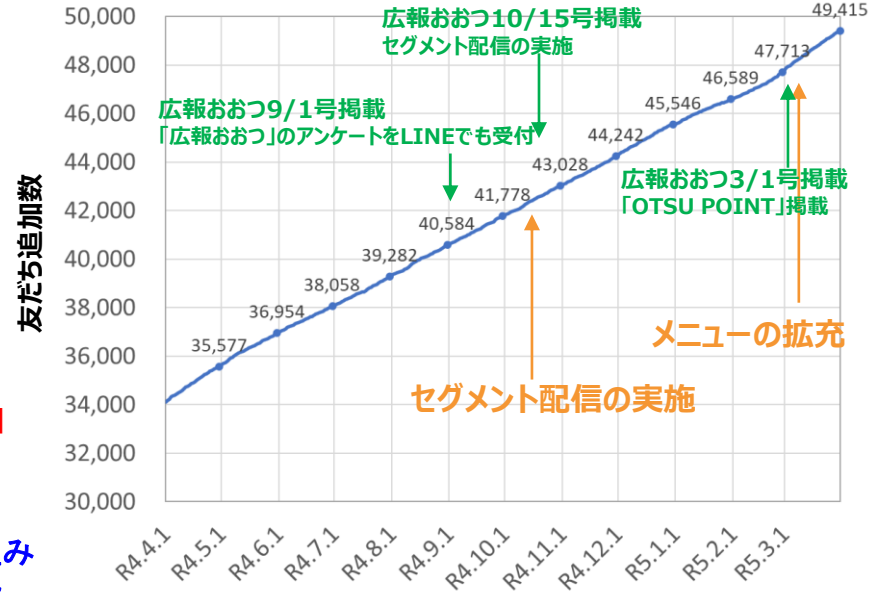
■「くらし」タブのメニューの拡充（3月）

- 「OTSU POINT」追加
- 「交通安全ポータル」追加
- 「通報」メニューから「市民通報」と「市街灯通報」を選択できる仕組みを構築



■友だち追加数の推移

前年度末:34,066人→**令和4年度末:49,415人**
⇒機能追加に伴い、市民の需要が高まっている



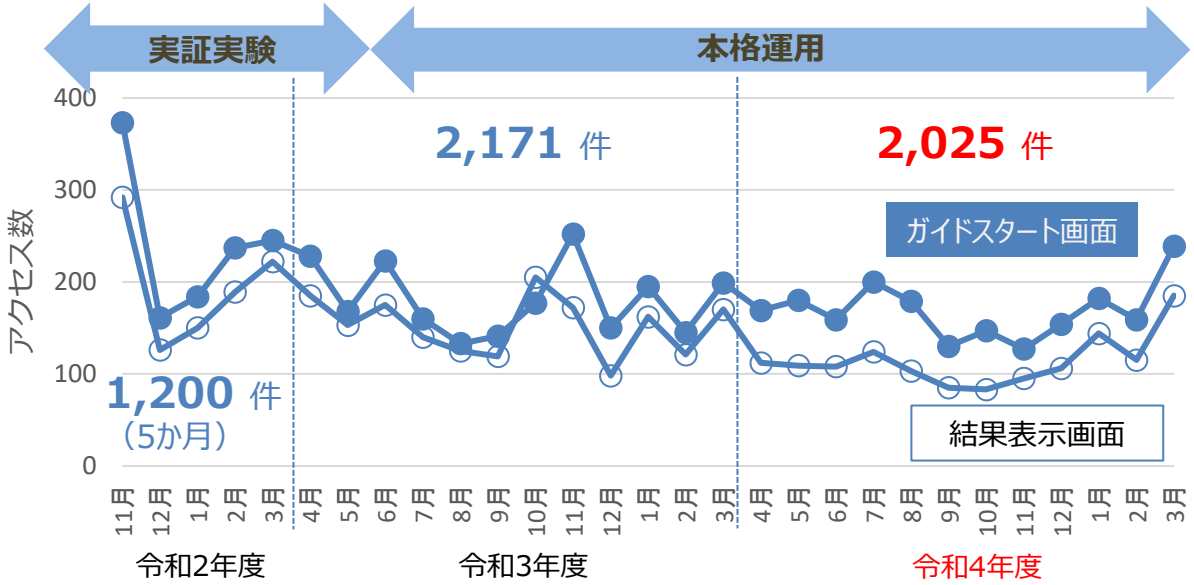
くらしの手続きガイド

【事業概要】

市民一人ひとりのライフイベントに合わせて必要な手続きを案内する「滋賀くらしの手続きガイド」を県・各市町で共同調達により令和2年度に導入した。

【令和４年度の実績・成果】

- ✓ １年間で合計2,025件の利用があり、昨年度（2,171件）とほぼ同等の水準だった。
- ✓ ガイドスタート画面を訪問したうちの約7割の利用者が、最後まで質問に回答して必要な手続き結果を確認した。

	ガイドスタート画面	結果表示画面
令和４年度アクセス数	2,025 件	1,369 件

遷移率 67.6%